

宇治市未来キャンパス

# デスカフェ @ 萬福寺

- 地域における死生観 -

---

大阪公立大学  
三富祐弥

- ① フィードバックが欲しい点
- ② テーマ設定背景
- ③ ターゲット
- ④ 企画内容
- ⑤ 課題と解決策
- ⑥ おわりに

## 1.フィードバックが欲しい点

---

■ 今後企画を進める上で注意すべき点。

■ 参加するとしたら疑問に思うであろう点。

■ どんな会なら参加したいか。

■ その他気になる点。

## 2.テーマ設定背景

### 問題意識

- ・ いざ困った時にどこを頼れば良いかわからないという声を聞く。
- ・ 死がタブー視されている。
- ・ 宇治市の最高な地域資源が愛されていない実感。

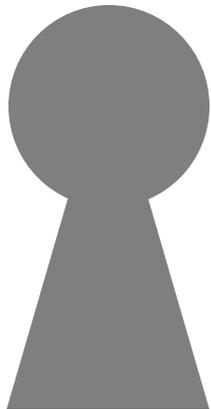
### 現状

- ・ 地域単位で死に触れる機会がない。
- ・ 死にまつわるダメージケアの体制が整っていない。
- ・ 葬送儀礼の形式や価値観の変化により、  
地域資源である寺院が地域に開かれていない、頼っている人が少ない。

### 目標

- ・ 宇治市において、困りごとを抱える人が頼れる先を増やすこと。
- ・ 家族や大事な人と、日常的に生と死について話す文化を醸成する。
- ・ 宇治市の魅力を住民自身に伝えること、感じてもらうこと。

おばあちゃん



#### おばあちゃん構成要素

- ・ 後期高齢者
- ・ 配偶者と死別し、現在一人暮らし
- ・ 夫大好き
- ・ 未だ感情を整理できていない
- ・ 主な交流は近所の友達と家族

## デスカフェとは



「死についてお茶を片手に語る場所」

議論やジャッジをする場ではない

死をタブー視しない

その場で話したことは口外禁止

## 4.企画内容-デスクフェ-



@明覚寺

## 4.企画内容-デスクフェ-



@コミュニティ  
スペース

## 弔辞ワーク



弔辞（故人に贈るお別れの言葉）

を読み合う

2人1組のインタビュー形式のワーク

弔辞について説明



2人1組になりインタビュー



インタビューを元に弔辞執筆



全体で輪になり弔辞を読み合う



感想を伝え合う

## 4.企画内容-弔辞ワーク-



## 4.企画内容-弔辞ワーク-



## 4.企画内容-弔辞ワーク-



「話して初めて気づく自分の考えがあった。」

「初めましてだからこそ話せることがある。」

「家族や知人と弔辞ワークをしてみたいと感じた。」

「今まで考えたことがなかったので良い時間になった。」

「普段死に向き合う機会が少なかったのだと感じた。」

## 実施効果

■ 個人、家族間での死にまつわる情報の整理。

■ 福祉関係組織の認知向上。

■ 自治体レベルでのグリーフケア負担の軽減

### 目標に対する課題と解決策

#### 文化の醸成

今回のイベントで終わらず、1年に1回程度でも定期的にデスカフェを始めとした活動を実施する、続ける。デスカフェのサークルを作りたい。

#### 地域資源の 認知

自分自身が宇治市の資源についてより知っていく必要。今回のイベントのように、地域資源を巻き込んだ活動をする。

#### 頼る先を 増やす

イベントに地域の頼れる方に来ていただいて、参加者間での横のつながりを作る。自分ができる仕事を突き詰める。

“今”大切な人と向き合う